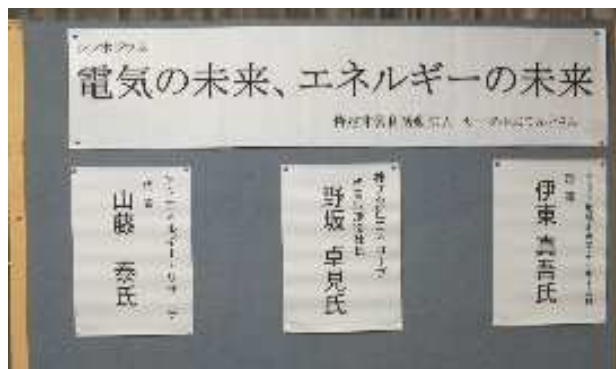


# シンポジウム「電気の未来、エネルギーの未来」を開催しました

開催日時	2014年2月8日(木)(土) 13:00~16:30
場 所	奈良県文化会館 集会室A・B
概 要	<p>YSエネルギー・リサーチ代表の山藤泰さんに基調講演「電気の未来、エネルギーの未来」を行っていただき、(株)エネコープ代表取締役社長野坂卓見さんには、「戦略的次世代バイオマスエネルギーへの挑戦～北海道の食料とエネルギーの自給率向上を目指して」について情報提供いただきました。その後、一般社団法人地域未来エネルギー奈良理事であり、市民エネルギー京都専務理事でもある伊東真吾さんをコーディネーターに質疑応答、ディスカッションを行いました。</p> <p>参加者は行政、環境関連団体、ならこープ関係者、サークルおてんとさん会員、エネルギー問題に関心がある市民など65名でした。</p>

様子



ボードのご案内



展示・資料コーナー



はじめまあす



今回も参加者は男性が多くいらっしゃいました



山藤さんによる基調講演



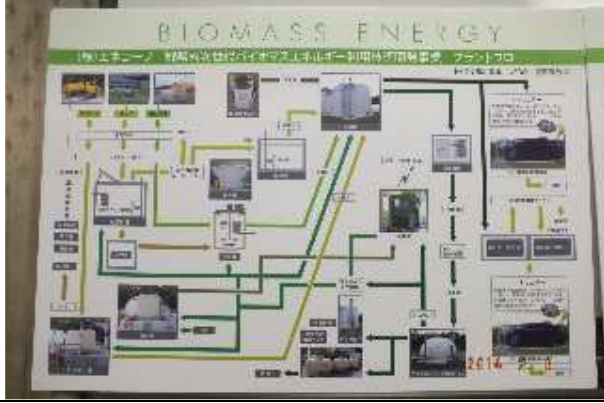
電気の歴史的背景、今後のエネルギーの方向性、最近の自治体の取り組みなど広い視点でのお話をいただきました。電力事業者や国に先んじて行政や集落、生協などがエネルギーの地産地消に取り組み、分散型エネルギーを考えること、地域住民と行政の協働、市民の意思を示すことが大切などの方向性も示唆していただきました。



野坂さんからの情報提供



エネコプの取り組みをいただき、北海道の地ならではの畜産の糞尿と食品残渣を使ったバイオガスプラントへの挑戦の熱意が伝りました。地域の先進実践事例として他地域への広がりや奈良での取り組みに生かせるものがあるのではないかと感じました。



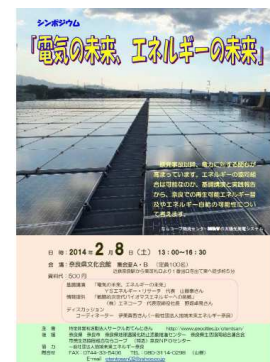
エネコプの取り組み紹介パネル



伊東さんのコーディネートによる質疑応答の時間は、多くの質問、意見が出され、エネルギーの自立に向けた関心と熱意が感じられる充実した内容となりました。

エネルギーに関するシンポジウムを毎年行っていますが、参加者の関心は高く、開催の意義は大きなものとなっています。私たち市民も学習することだけに満足せず、エネルギーの自立、地産地消に向けて地域から行動することが大切であり、国や地方自治体のエネルギー政策に積極的に関わっていき、「お任せ」状態から脱していくことが必要になってきています。

展示・資料コーナー



シンポジウムのチラシ

主催 特定非営利活動法人サークルおてんとさん <http://www.geocities.jp/otentsan/>  
 後援 奈良県 奈良市 奈良県地球温暖化防止活動推進センター 奈良県生活協同組合連合会  
 市民生活協同組合ならこプ (特活) 奈良NPOセンター  
 協力 一般社団法人地域未来エネルギー奈良